



## 目次

- 1 : 2021 シーズンを迎えて
- 2 : 新任委員挨拶・蒲生慶一端艇部長逝去  
　　風間教授が端艇部長に就任・お花見レガッタ
- 3 : 「ベストを尽くしてほしい」・「コロナ禍のなかで」
- 4 ~ 6 : 令和2年度艇友会総会・合宿所紹介
- 7 : 「香港ドラゴンボート生活」
- 8 : 部員紹介 9 : 新入部員紹介・いただきものリスト
- 10 : 「わたしのシニアボート修行」
- 11 : 「茨戸で漕いでみませんか？」
- 12 : 会費納入のお願い・計報・編集後記

## 2021年シーズンを迎えて

監督 川井まゆみ（平13M）

2021年度端艇部監督を拝命しました、平成13年モンゴル語専攻卒の川井（原勢）まゆみです。身の引き締まる思いであるとともに、学生時代ならびに社会人クラブチームでも続けた大好きなボート競技に関わることができ、大変嬉しく思います。学生の意思を尊重しつつ、支援をしていきたいと思っております。コロナ禍で、見通しが立たず不安も多く、手探りである中、なにぶん若輩者ではございますが、精一杯つとめさせていただきます。忌憚なきご意見・ご指導のほどよろしくお願ひいたします。

端艇部は、昨年のインカレ終了後、11月上旬にようやく大学から活動再開を認められ、艇庫への通い練習という形で全体での活動が再開しました。週末中心に乗艇練習を重ね、年明けには埼玉県ボート協会主催の戸田ロングレースの出漕も予定し、準備を続けていました。ところが明けて1月7日緊急事態宣言が発出されたことにより大学から課外活動の禁止が言い渡され、レース出漕はもとより乗艇練習も再度できない状況となりました。宣言期間延長もあり、晴れて練習再開が許可されたのが3月24日。今シーズン最初のレース・現役部員たちにとっては1年以上振りとなる公式戦まで2週間足らず。乗艇練習を再開しましたが、練習負荷の急増に対応できず故障者が出てしまったこと等により、予定していたM2×、M1×2杯、W1×出

漕は叶わず、M1×2杯（1クルーはオープン参加）、W1×の出漕となりました。リハビリ的な意味合いも大きく、それまでの個々人のトレーニング量の違いによるコンディションの差や、現時点のレベルを実感し、次へつなげる通過点となりました。観戦はもちろん伴走も許可されないため、岸からの応援・指示もできない静かな大会運営に寂しさを感じ、新入生にボート競技の面白さや大会の雰囲気を伝えられず歯がゆさも感じます。また、今回1000mレースではこれまで行われなかったレース後の抜き打ち艇計量があり、基本的な競漕ルールを改めて確認する機会ともなりました。

続いて、大型連休に予定されていた戸田レガッタ出漕ですが、こちらも直前の4月29日よりみたびの緊急事態宣言発出により課外活動禁止・棄権となりました。個々の漕手のリハビリ・トレーニング状況を踏まえ全員1×での出漕を予定していました。

五大学レガッタも、直前まで開催の方向で準備し、宣言明けからの練習再開・出漕を予定していましたが、緊急事態宣言・まん延防止等重点措置の期間延長が決定的となり、中止の判断がなされました。

今後も、感染拡大防止を前提とした社会状況は変わらず続いていきます。その中で安全に活動ができるよう環境を整えて、大きな目標に挑んでいけるよう努力します。これまでと変わらぬご支援を賜りますようよろしくお願ひいたします。

## 新任委員挨拶

### 藤枝智美（令2F）

皆様こんにちは。この度広報として委員会に新規参画致しました、2016年度入学フランス語科出身の藤枝と申します。現役部員と艇友会の皆様の懸け橋となれるよう邁進して参りますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

スポーツはしばしば「己との闘い」と評され、そのアクティブなイメージと反して非常に内向的な性質を持つものです。ことレース競技であるボートにおいて、その本質は非常に内的な部分にあると認識しております。

しかし、それに反して近年の現役部員、特に4年生は今多くの外的困難に向き合うことを余儀なくされています。思うようにいかない練習環境、先行き不透明な大会に向けてそれでも自分にできることを日々研鑽を重ねる彼らには頭が上がらない思いです。

非常に難しい状況下ではありますが、少しでも彼らの強い思いを受け止めサポート体制を固めるため、OBOGの皆様のご協力が不可欠です。何卒応援の程よろしくお願ひいたします。

### 鳥山芽衣（平28Cz）

こんにちは、この度新しく委員会メンバーとなりましたCz卒鳥山芽衣です。外語OBOGの皆様には現役の頃より大変お世話になっております。また現在学生の皆様におかれましては前例のない状況の中、ボート競技を続ける選択をしてくださっていること、そして端艇部という組織を通じてご縁をいただけたこと嬉しく思っています。委員会の若返りと現場との橋渡しを期待してお声がけいただき参りましたが、ここ数年現場へは足が遠のいておりました。私事ではありますが、昨年鍼灸師の資格を取得し生業として活動を始めております。今後は手元にある知識や技術も活用して、現場にも足を運び恩返しをしていきたいと存じます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

## 蒲生慶一端艇部長逝去

端艇部長の蒲生慶一教授はご病気のため2021年3月26日に逝去されました。蒲生教授は2019年4月に端艇部長に就任。その直後に開かれた五大学レガッタでボート競技の魅力に初めて触れるとともに、外語の幹事校としての活躍ぶりや、OBOGと学生との強い結束に感銘を受けたと話しておられました。昨年はコロナ禍で学生がボートを漕ぐ機会をほとんどもてなかつた中、部員の相談に乗るなど親身に対応してくださいました。二年ほどの短い期間ではありましたが、これまでのご指導に感謝申し上げるとともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

## 風間教授が端艇部長に就任

蒲生教授の急逝を受けて、後任の端艇部長には風間伸次郎教授が就任した。風間教授は体育会系の課外活動に理解があり、2001年から8年にわたって端艇部長を務めた。二度目となる今回、コロナ禍で活動制限されてきた学生のよき指導者となって頂けると期待している。

### お花見レガッタ ラオス語科3年 五十嵐創矢

4月3・4日はお花見レガッタでした。私は初めてシングルスカルで出ました。コロナで活動がかなり制限されて、正直ボートに対する気持ちが弱くなった時期もありました。しかし久しぶりにレースをして、この競技の楽しさや気持ちよさを改めて実感しました。また、楽しかったという気持ちと同時に自分の実力不足

も感じました。特に2日目のレースでは、途中まで並んでいたのに、後半ペースが落ちて勝てませんでした。5月には戸田レガッタがあるので、まずはそこに向けて頑張ります。応援よろしくお願ひいたします。

## ベストを尽くしてほしい

トルコ語4年 山下鈴奈

こんにちは、トルコ語科の山下鈴奈と申します。

昨年11月まで漕手として活動していました。昨年はコロナによって惜しくも全日本大学選手権に出場できませんでしたが、クリスマスレガッタという小さな大会に出場し、無事引退することが出来ました。インカレに出来なかったことや留学を断念したことは未だに心残りではあります。現在は卒業論文の執筆や就職活動に明け暮れています。

先日、ボート部の試乗会と2年生の練習のお手伝いに戸田へ行きました。まだコロナによる活動の制限が多いものの、試乗会は大盛況で部全体に活気が戻っている様子を見て感心しました。特に最上級生は、今できることにひたむきに取り組み、練習や新歓活動に対してとても前向きです。私はコロナによって活動休止になった時、引退試合すら出れないかもしれないと思い、先が真っ暗のように感じて一時練習に対するモチベーションが完全に途絶えてしまった

こともあります。そのような経験をしたからこそ、こんな大変な時期でも諦めずに部を引っ張っていく彼らに、尊敬さえも感じました。

また3人の3年生においては最も成長を感じました。特に新歓活動のなかで重役を担っている姿、誰よりも真面目に練習に取り組む姿をみて、私が引退してからの6か月で急成長したように感じます。最後に、現在部がこれほど明るさを保っているのは、2年生の存在が大きいと思います。2年生には、コロナで最近になるまで実際にボートを漕げなかったにもかかわらず、ボート部の一員になってくれたことに感謝しています。元気溌剌で、積極的にボートについて吸収しようとする姿勢は今こそ部にとって最も必要で、今後もその姿勢を持ち続けてほしいです。

本当に大変な時期ですが、どうか現役部員には後悔のないよう、今できるベストを尽くしてほしいです。私は力不足でチームにとって何も功績を残せなかったので恐縮ですが、少数精鋭のチーム再建を目指し、頑張ってください！そして現役、O B O Gの方々もお体には気を付けてください。

## コロナ禍のなかで

トルコ語4年 佐々木萌乃

昨年主将を務めておりました、トルコ語科4年の佐々木萌乃です。就職活動や卒論執筆準備を行う傍ら、塾やベビーシッターのバイトで子供たちに癒される日々を送っております。

昨年は乗艇練習はおろか仲間と直接顔を合わせることもままならない状況の中、インカレ出場すら叶わないという非常に悔しい年でした。しかし、コロナ禍や学校との交渉は今まで表面化してこなかった課題に向き合うきっかけとなったようにも感じます。練習形態、個人に依存することのない組織体制、部員・コーチ・艇友会の方々の連携の在り方など、部は今まさに再編の途上にあります。私個人といたしましてはOGという立場にまだ少し慣れない場面もあり、まだ何も貢献できておらず恥ずかしい限りです。しかしサポートする立場になって改めて、ボート部の活動がどれだけ多くの人に支えられているか、そしてサポートの難しさを感じました。自身で結果を残すことができなかった分の悔しさをボート部にとってのプラスに変換できるよう、後輩たちの助けになりたいです。

現在部員たちは、限られた条件の中で本当に頑張っています。2年生の練習をサポートしていると、彼らの成長スピードと明るさに毎回驚かされます。何より純粋にボートを楽しみ前向きに練習する姿が、部全体の雰囲気を明るくしてくれています。初めてのエイト、初めてのシングルに目を輝かせる彼らを見ていると、今まで元気をもらいます。3年生は個性的な先輩たちに揉まれもとよりしっかりしていましたが、半年後には最上級生になるという責任感が加わって本当に頼もしくなりました。何気ない会話の中でも部全体のことを考えていることが垣間見えました。新歓が多く新入生で賑わい、このような状況下でも新入部員を獲得できたのは彼らの活躍あってこそだと感じます。

最後に最上級生は、未来が保証されない不安定な状況の中で、部全体の今とこれから、練習、後輩、自身の将来など考えなければならぬことが山ほどある中で、本当に頑張っています。与えられていた枠組みもなくなり、今やるべきことをゼロから自分たちで考え実行している彼らを心から尊敬します。彼らの部活動が少しでも実り多く、悔いのないものにできるよう、力添えできればと思います。

# 「令和2年度艇友会総会」

令和3年2月20日(土)、令和2年度東京外語艇友会総会が開催された。新型コロナウイルス拡大防止のため1月上旬に発出された緊急事態宣言が継続中だったことを受けて、今回はZOOMテレビ会議システムを活用した初めてのリモート開催となった。

当日は23名が参加。執行部より議案報告を行うと、参加者からはときおり建設的な意見が出された。WEB上の会合ではあったが、大きなトラブルもなくスムーズに議事が進行し、第一号から第六号議案までおおむね原案通り承認された。今年度の総会で審議された議案の内容について以下に記載する。



## ■第一号（2年度事業報告）

冒頭、新型コロナウイルスにより活動が大幅に制約された一年だったことを述べた上で、詳細を以下の通り報告。月例委員会の開催と、議事内容を議事録にして理事へ送付。コンコレディア160号(12月)と、2020年度艇友会名簿の発行。第50回記念塔祭については開催延期。五大学レガッタと学内レガッタは開催中止により支援実績なし。定例理事会を総会前に開催。端艇部支援基金は1312万円(3年2月現在)。なお、本議案に対して、理事会をリモート開催にして艇友会活動の活性化を望む提案が出たので、委員会として前向きに検討する旨を回答した。

(第二号議案)

## 令和2年度決算報告書

(自令和2年1月1日～至令和2年12月31日)

### ■一般会計の部

収入の部	予 算	実 績 ①	予算比	(参考)前期実績
会費等収入	5,700,000	4,740,000	-960,000	5,425,000
その他収入	150,000	78,345	-71,655	358,646
広告収入	150,000	0	-150,000	178,000
合計①	6,000,000	4,818,345	-1,181,655	5,961,646

### 支 出 の 部

支 出 の 部	予 算	実 績 ①	予算比	(参考)前期実績
合宿費補助	1,500,000	598,990	-901,010	1,335,829
練習費補助	1,150,000	460,714	-689,286	1,257,018
諸負担金補助	650,000	189,000	-461,000	719,384
交通費	10,000	0	-10,000	2,390
通信費	60,000	43,844	-16,156	61,300
事務費	30,000	7,069	-22,931	25,196
広報活動費	180,000	117,853	-62,147	164,704
諸行事費	150,000	81,902	-68,098	122,687
五大学費	170,000	0	-170,000	190,188
新人勧誘費	230,000	150,098	-79,902	166,566
遠征費補助	1,500,000	0	-1,500,000	848,135
名簿作成費	30,000	36,160	6,160	0
安全保険加入費	50,000	37,280	-12,720	53,926
部車維持費	240,000	185,090	-54,910	177,006
コーチ研修費	0	68,150	68,150	0
予備費	50,000	26,076	-23,924	175,779
合計②	6,000,000	2,002,226	-3,997,774	5,300,108
収支(①-②)	0	2,816,119	2,816,119	661,538

### <収支残高処分案>

前期繰越	503,517	665,055	-	865,099
今年度収支	0	2,816,119	2,816,119	661,538
造艇基金に積立	0	-2,000,000	-2,000,000	-500,000
次期繰越	503,517	1,481,174	977,657	1,026,637

### <決算期末残高内訳>

郵便振替口座	2,258,253
三井住友銀行	1,210,676
手許現金	12,245
計	3,481,174

収支は以上の通りであり、未払金は以下の通りです。  
立田コーチ指導料 127,500 円  
五大学広告費返金 92,000 円

## ■第三号（3年度役員選任）

役員改選期ではあったがほとんど変更せず、鳥山芽衣氏(平28Cz)と藤枝智美氏(令2F)を理事に加えるのみとした。学生指導では川井まゆみ氏(平13M)が監督に就任。さらに、伊澤秀幸氏(平20H)、朝倉桃子氏(平22E)、鳥山芽衣氏(平28Cz)、横瀬裕太氏(平30H)がコーチに就任した。

## ■第四号（3年度事業計画）

基本的な活動方針は例年と同じだが、コロナ禍でも交流促進を図るためのリモート懇親開催等の検討を盛り込んだ。事業の主な柱としては、端艇部支援、艇友懇親、コンコレディアの年2回発行、記念塔祭の開催、財務管理のさらなる強化など。現場事業計画については別項の通り。

## ■第四号 2021年度 計画

<2021年度レース日程>

- 4/3(土)・4(日) お花見レガッタ
- (5/2-4?) 戸田レガッタ
- 6/6(日) 五大学レガッタ
- 6/20(日) 東日本夏季競漕大会
- 7/17(土)・18(日) 東日本選手権
- 8月上旬 田瀬湖合宿
- 9/9(木)・12(日) 全日本インカレ
- 9/23(木)・26(日) 全日本選手権
- 10/16(土)・17(日) 東日本新人
- 10/29(金)・31(日) 全日本新人

<昨年からの課題>

年間を通してレース出漕がなく、十分な練習量の確保ならびにチームとしてレースに向けての身体的・精神的コンディショニングを経験することができなかった。また、特に一年生は、レースはおろか乗艇練習を経験することがほとんどできなかった。これを踏まえて、新しく始まるシーズンに向けて、

- 昨年より増加したトレーニング量に耐えられる身体づくり
- 十分な乗艇練習量の確保、フィジカルの改善・強化
- 艇への技術的アプローチの見直し
- 下級生へのロウティング技術・マインドの醸成・伝達

<目標>

### 3・4年生

- インカレ決勝進出（男子対校種目）、インカレ準決勝進出（女子対校種目）
- 上記の目標に必要な体力レベルに到達する
- Ergo 目標 男子平均 6 分 40 秒（全日本選手権出漕条件の公式記録クリア）
- Ergo 目標 女子平均 8 分 00 秒（インカレ出漕条件の公式記録クリア）、さらに目指すべきは 7 分 50 秒（全日本選手権出漕条件の公式記録クリア）
- 下級生との乗艇練習・レース出漕を通して技術・マインドの伝達

### 1・2年生

- 秋の新人戦に向けた体づくり
- Ergo 目標タイムの設定・達成
- 上級生との練習を通してロウティング技術の習得・マインドの醸成
- ロウティングの楽しみを知る
- 学業と部活動の両立・生活リズムを身につける

<取り組み>

### 3・4年生

- 有酸素トレーニング量増加と強度管理の徹底

(第五号議案)

## 令和3年度予算案

(自令和3年1月1日～至令和3年12月31日)

### ■一般会計の部

収入の部	予 算	令和2年度実績	増減額
会費等収入	5,700,000	4,740,000	960,000
その他収入	150,000	78,345	71,655
広告収入	150,000	0	150,000
合計①	6,000,000	4,818,345	1,181,655

令和2年度 予算	差異
5,700,000	0
150,000	0
150,000	0
6,000,000	0

支出の部	予 算	令和2年度実績	増減額
合宿費補助	1,200,000	598,990	601,010
練習費補助	1,800,000	460,714	1,339,286
諸負担金補助	700,000	189,000	511,000
交通費	400,000	0	400,000
通信費	60,000	43,844	16,156
事務費	30,000	7,069	22,931
広報活動費	180,000	117,853	62,147
諸行事費	120,000	81,902	38,098
五大学費	170,000	0	170,000
新人勧誘費	180,000	150,098	29,902
遠征費補助	800,000	0	800,000
名簿作成費	0	36,160	-36,160
安全保険加入費	60,000	37,280	22,720
部車維持費	280,000	185,090	94,910
コーチ研修費	70,000	68,150	1,850
予備費	50,000	26,076	23,924
合計②	6,100,000	2,002,226	4,097,774

令和2年度 予算	差異
1,500,000	-300,000
1,150,000	650,000
650,000	50,000
10,000	390,000
60,000	0
30,000	0
180,000	0
150,000	-30,000
170,000	0
230,000	-50,000
1,500,000	-700,000
30,000	-30,000
50,000	10,000
240,000	40,000
0	70,000
50,000	0
6,000,000	100,000

前期繰越	1,481,174
今年度収支(①-②)	-100,000
造艇基金に積立	0
次期繰越	1,381,174

- 特に身体を徹底的に追い込むこと。トレーナビリティの向上
- トップ選手との練習または外部指導者からのコーチングによる、Rowing テクニック、感覚の養成
- レースに向けたコンディション管理の徹底
- 下級生との乗艇練習・レース出漕を通して技術・マインドの伝達

### 1・2年生

- 乗艇練習回数の十分な確保
- 増加した練習に耐えられる身体づくり、コンディション管理
- 練習・合宿の生活リズムの獲得
- レースに向けた流れを経験し、コンディション管理の重要性・方法を学ぶ
- 上級生との乗艇練習・レース出漕を通して技術の習得・マインドの醸成

身体作り、コンディショニング、食事、トレーニング、リギング、

乗艇といった練習に関わる全ての事に貪欲に取り組んでもらう。現役学生にはそれぞれの立場で自分の役割・目的を明確にし、責任をもって取り組み、結果を出してもらう。

貴重な学生時代の時間をボートに費やすにあたり、有意義な経験・成長ができるよう、主体性をもって活動する。

#### ■第五号（3年度予算案）

一般会計における収入は前年度予算と同額の600万円とした。支出については、練習環境整備のため練習費補助を増額、コロナ禍で合宿できない場合に備えて電車回数券を学生に支給するための交通費を増額。これらにより支出は610万円となるが、繰越金を当てることで収支バランスをとる予算とした。

#### ■第六号（その他報告事項）

今年度の新会員は3名。

#### ■懇親会

総会終了後、ZOOM懇親会を行った。現役学生の自己紹介、新会員から卒業に当たっての一言のあと、OB・OGからは、コロナで一年間ほとんど活動できなかった学生たちを慮る言葉と熱いエールが送られた。最後に参加者全員でZOOM画面での記念撮影を行い、閉会となった。

リモートでの会合は対面できないデメリットはあるものの、お会いする機会の少ない方と話せるなど、大きなメリットがあることを改めて感じることができた。今後も艇友会活動の一環としてリモート会合を織り混ぜるなどして、現役とOB・OGとの懇親を深める試みを続けていきたい。

### 合宿所紹介

国際日本学科3年 張天颯

伸び伸びと運動ができ仲間と日常を楽しむ、戸田ボートコース沿いの好立地にある我らの端艇部合宿所。3年目にして改めて合宿所の開放感と自由さに気づきました。

2020年4月に大学の感染対策の一環として合宿所が閉鎖されました。部員たちは地道な練習を各自しているながら、オンラインで丹念に新歓活動を行っていました。もっとも、実際戸田公園に試乗会などオフラインのイベントが組めないと魅力が伝わりにくくと嘆く去年の新歓でした。

幸い今、課外活動が認められ、新2年生の新たな仲間を含め、合宿所生活を再開しつつあります。私自身も、部活動のおかげでホームシックが吹き飛び、大学生活の再出発という気分です。

日々のボート部生活を取り戻すと願い、部員一同は合宿所の維持に手掛け、たくさんの仲間が加入してくれるよう、そしてOB、OGの皆様に遊びに来てもらえる魅力ある場所にしていきたいと思います。





## 香港ドラゴンボート生活

平 8In 能勢鯨太



2015年8月～19年5月と香港に駐在していました。ちょうど2014年の雨傘革命後、2019年の民主化デモが激化する直前までと、香港の最も幸せだった時期と言えましょう。

駐在期間中は思いのほかボート界と縁のある毎日でした。外語ボート部OBだけで湯橋君(平12F)、斎藤君(平13A)、留学生だったラヨシュ君が揃い、香港ナショナルチームでは1期下の瀬田RC出身の坂本剛健君がコーチを務めており、他に東大ボート部OBなども交えて密にボート交流していました。毎年の香港レガッタや、コースタルローイングの大会など、イベントの度に日本からもボート関係者が多数来訪する忙しい毎日でした。

そんな中、最も力を入れて活動したのはドラゴンボートでした。中華圏の伝統的なボート競技で、日本では長崎のペーロン、沖縄のハーリーなどとして知られているものです。香港では春先から各漁村などで大会が始まり、端午節(日本の端午の節句、旧暦なので例年6月)にシーズン最大のレースが催されるものです。因みに端午節の英語訳はDragon boat festival dayです。大会によって舟のサイズが違いますが、最もポピュラーなものは18人漕ぎでドラマーと舵手が乗りこむもので、端午節の大会がこの舟になります。

レースの距離は200m少々、レースピッチは80～100回／分という高レートで、1分前後で絞り尽くす競技だとイメージして下さい。パドル(オールではない)は130cmほどで、ひと漕ぎでは1m少々しか進みません。なんとも無駄に疲れる競技だと最初は思いました。ただタテに漕ぐので隣のボートとの距離は非常に近く、5m間隔で12杯のボートが一斉に全力疾走するのはものすごい迫力です。

私は上述の斎藤君と共に香港の日本人中心のチームに3シーズン参加、最後の2019年シーズンはヘッドコーチに就任し、毎

週末の練習メニュー、クルー編成、平日のサーキットトレーニング指導などを手掛けました。香港の漁民や体躯に勝る欧米人チームの中で、普通の日本人駐在員を中心としたチームを引っ張り上げるのは大変な苦労でした。日本に帰任してからも週末毎に香港に通い、コーチを続け、6月の端午節の本戦では30年のチーム史上最高順位の6位(参加192クルー)、シリーズポイントでは総合2位という好成績で香港生活を締め括った次第です。

ローイングとは全く違う運動ではありますが、パドルを使って水を固め、良いリズムでボートを前に進ませるという点で通じるものが多く、またもともと制約のある戦力を高めて競合チームと戦っていく過程では、外語ボート部での知識、経験が大変役に立ちました。

そして外語ボート部で得た財産と同様に、私自身もドラゴンボートを通じて香港社会での人脈、経験を増やせ、人生において新たなバックボーンを得ることが出来ました。

日本に帰任して2年が経とうとしていますが、その後も同様に帰任した当時のチームの仲間との交流は続いている。

今はコロナ禍で香港への渡航も思う様に出来ませんし、引き続き中国共産党と民主化のせめぎ合いは続く香港ではありますが、今も現地で暮らす仲間からの話では日本での報道とは違った一面も聞こえ、転んでもただでは起きない香港人と、そこに根差して暮らす日本人の息吹は絶えないものと確信しています。

もし現地に行かれがあれば、是非ドラゴンボートも体験してみて下さい。単なる観光では知り得ない香港がそこにはあります。



## 部員紹介

- ① 氏名
- ② 学科（学年）
- ③ 身長 / 体重
- ④ 趣味・特技
- ⑤ わたしはどんな人？

- ① 牧野千央（主将）  
 ② スペイン語科（4年）  
 ③ 172cm/70kg  
 ④ アルバイト・ステーキをミディアムレアで焼く事  
 ⑤ たまにズレてるが、頼れる主将



- ① 宮川直希（漕手）  
 ② 中国語科（4年）  
 ③ 173cm/kg  
 ④ 釣り、虫取り  
 ⑤ 温厚な生物博士



- ① 赤井彩音（女子部主将）  
 ② ドイツ語科（4年）  
 ③ 162cm/57kg  
 ④ ピアノ、作曲  
 ⑤ 安定感抜群、前世はお釈迦様



- ① 原健介（漕手）  
 ② ロシア語科（4年）  
 ③ 165cm/62kg  
 ④ ロシア語の勉強  
 ⑤ 顔が特徴的、根は真面目



- ① 横本萌乃（主務）  
 ② スペイン語科（4年）  
 ③ 155cm  
 ④ なにもしない時間楽しむこと  
 ⑤ 最近小言が増えた



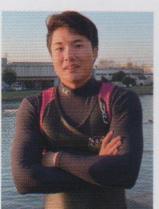
- ① 日比野知歩（マネ）  
 ② トルコ語科（4年）  
 ③ 150cm  
 ④ 犬にちょっといを出すこと  
 ⑤ 携帯を水没させがち



- ① 五十嵐創矢（漕手）  
 ② ラオス語科（3年）  
 ③ 169cm/67kg  
 ④ バスケ  
 ⑤ ようやくブラックコーヒーを飲めるようになりました！もし美味しいものを知っていたら教えて是非教えてほしいです！



- ① 張天颯(漕手)  
 ② 国際日本学科（3年）  
 ③ 175cm/73kg  
 ④ 責任的にお酒を嗜むこと  
 ⑤ 人生の次の段階が楽しみでしかない。



- ① 福岡楓（漕手）  
 ② 日本女子体育大学（3年）  
 ③ 156cm/60kg  
 ④ 泳ぐこと  
 ⑤ 笑いのツボが浅く元気いっぱいの体育大学生です



- ① 小澤七奈（マネ）  
 ② 国際日本学科（2年）  
 ③ 154cm  
 ④ 首を回すこと  
 ⑤ 手先が不器用なことがバレてきました



- ① 崔瑛洙（選手）  
 ② 国際日本学科（2年）  
 ③ 154cm/52kg  
 ④ 音楽鑑賞  
 ⑤ 焼きそば大好きです



# 未来へ羽ばたけ！ 新入部員紹介

- ① 氏名
- ② 学部・学科
- ③ 出身地
- ④ 潛手？マネージャー？
- ⑤ 趣味
- ⑥ ボート部に入部した理由
- ⑦ 意気込み

- ① 廣岡 沙和  
 ② 言語文化学部・英語科  
 ③ 東京都  
 ④ 潜手  
 ⑤ 昼寝  
 ⑥ PVが素敵だったから  
 ⑦ サボりません



- ① 川口 嵐  
 ② 国際社会学部・イタリア語科  
 ③ 東京都  
 ④ 潜手  
 ⑤ サッカー観戦  
 ⑥ 大学でも運動に打ち込んだかった  
 ⑦ 楽しみつつ頑張ります！



- ① 福田 奈央  
 ② 国際社会学部・フランス語科  
 ③ 神奈川県  
 ④ 潜手  
 ⑤ 高校野球、お笑いを見ること  
 ⑥ 悔いなく学生生活を終えるため  
 ⑦ 全力で頑張ります！



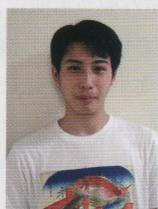
- ① 関 恵美  
 ② 国際社会学部・スペイン語  
 ③ 岡山県  
 ④ 潜手  
 ⑤ 音楽を聞くこと  
 ⑥ 霧囲気がよかったです！  
 ⑦ 頑張ります！



- ① 黒田 一遺  
 ② 国際社会学部・フランス語科  
 ③ 東チモール  
 ④ 潜手  
 ⑤ 不定  
 ⑥ 競技のシンプルで純粋な奥深さと  
ボート部の魅力的な先輩方に惹かれたから。  
 ⑦ マジで頑張ります！



- ① 平山 克己  
 ② 言語文化学部・インドネシア語科  
 ③ 愛知県  
 ④ 潜手  
 ⑤ ゲーム、散歩、映画鑑賞  
 ⑥ よく知らないスポーツがしたかったから！  
 ⑦ あまり休まず全力でやります！



## 頂きものリスト

永田郁智様 洋服  
 市村瑞輝様 お米  
 C60のみなさま 現金  
 小林亮太様 自転車、お菓子  
 藤原功樹様 スポーツドリンク粉  
 伊澤秀幸様 お菓子  
 川井まゆみ様 ジュース  
 藤枝智美様 お菓子

皆様のご協力に感謝申し上げます。  
 あたたかいご支援、誠にありがとうございます。

# わたしのシニアボート修業

— 2021 戸田マスターズレガッタ参戦記 —

中野 恵子 50 S



C 60 で始まったわたしのシニアボート生活ですが、縁あって三菱ボートクラブで漕ぐようになって早や 10 年でしょうか、爾来、全日本マスターズ、戸田マスターズレガッタをはじめとして、主だったマスターズのレースにエイトやクォドルブル等で参戦しています。

さて、昨 2020 年はご承知のようにコロナ禍勃発でマスターズレースも軒並み中止を余儀なくされ、三菱女子も 1 月に戸田ロングでエイトを漕いで以来、やっと 12 月に鶴見川ボートマラソンでエイトが漕げたという有様、自粛続きで定例練習もままなりませんでした。

2021 年も年初よりの緊急事態宣言下、1 月に戸田ロングは開催されました。わたしは参加せず練習も自粛していました。

そんな中、2 月下旬に日本ボート協会から 5 月 29 日の全日本マスターズ特別大会開催がアナウンスされると、シニアボート界はにわかに色めきたちました。開催種目は限られ、またダブルエントリも出来ないため、三菱女子は G 8+ 一本で参加することを決めました。

そして、それに先立って毎年 5 月初めに開催される戸田マスターズレガッタには G 8+ 、 G 4 X+ 、 H 4 X+ 、 H 2 X で出場することを決め、練習に取り掛かりました。とは言うものの、緊急事態宣言延長などもあり、圧倒的に練習量の少ない中で体力、心肺能力を上げ、レースモードに切り替えて行くのはなかなか骨が折れ腰も折れそうで大変でした。そうしていよいよ戸田レまで一週間という 4 月 25 日、再び緊急事態宣言が出たのです。

女子内部でも宣言下の振る舞いをどうしたものか、都県境をまたぐ移動はどうか、等々気持ちが揺れましたが、埼ボは戸田レ決行の意向であるし、三菱ボートクラブを運営する三菱養和会も都内施設は休館するけれど、埼玉県にある戸田艇庫は平常営業（夜間は八時までの時短）するということで、普段から厳重な感染対策措置の下活動しているのですから、戸田レガッタには予定通り出漕することにいたしました。

以下わたしの関係するレース報告です

## 戸田マスターズレガッタ第1日

5月2日 16:18 W 4 X+ D、G、H

早朝より快晴と雷雨が交互する変わりやすい天候。時折突風あり。

一日目最終レース。この頃は水面は穏やか。

わたしの乗る MBC (G) は MBC (H) とパルテ会 (D) に挟まれてスタート。

パルテ会 (D) は大型外国人を擁する大型クルー、しかも D であるから最初から勝負にならない、と思いながらもスタートでは歯を食いしばり、スパートではまだ視野に捉えていたが、ほどなく視界から消えた。それでも予定のコンスタントレート 26 を上回る 27 、 28 で追いかけるも次第に置いていかれた展開。

しかし、わが G 4 X+ も最後まで艇速をキープして、練習を通じて一番オールもよく合いリズムある漕ぎが出来た。タイムは不満が残る。

2 レーン パルテ会 (D) 4' 40" 11

3 レーン MBC (G) 5' 05" 57

4 レーン MBC (H) 5' 40" 03

MBC W 4 X+ (G) メンバー

COX: 北澤 S: 中野 3: 飯塚 2: 曽山 B: 谷古

第2日

5月3日 11:50 MW 8+ (G)

天気晴朗なれど波高く終始強めの追い風の一日。時折の突風あり。強風のためわれわれのスタートはペンドイングになったほど。

1 、 2 、 3 、 4 レーンと男性強豪クルーが居並び、しかも G 。

並べて 5 レーンスタートは引き波を受けて、いかにも不利。

とにかく付いて行くしかない！と覚悟のレース。

スタート直後目の前のスピードコーチに目をやると、なんと！全面 0 0 0 0 表示に！

アチャーフ、スタートはラッシュ気味のわたしの体感レートは 35 、このままスパートいくのか、コンスタントどこまで落とすか、瞬時に思いは巡り、「レートは？？！レート！！！」とコックスに連呼するも、コックスは自分のレート計に目を落としたり、本数計算してののか一向に反応がない。こちらも息が上がって何度も「レート！レート！」と言い続けられない。「大きく行こう」が入って、やっと「30 、速すぎる、もたないから」と言うけれど、もう後ろがエンジンかかってしまって落とせない。次の足けりでやっと 28 、 29 に落として、後はもうそのまま突っ走るしかない。なにしろ敵ははるか彼方なのだから、、、

大差のレースであったが、三角波も立って難しい水面を高レートで突っ切ったせいか艇のバランスは悪くなく、終始調子を落とすことなくリズム良くゴールイン出来た。練習を通じて一番の漕ぎだった。

1 レーン 駿台艇友会 (G) 3' 59" 22

2 レーン 多摩川クラブ (G) 4' 00" 16

3 レーン 団塊号朱雀 (G) 3' 33" 39

4 レーン 淡青会 (G) 3' 39" 17

5 レーン MBC W 8+ (G) 4' 44" 44

MBC W 8+ メンバー

COX: 北澤 S: 中野 7: 飯塚 6: 谷古 5: 曽山 4: 木元 3: 青木 2: 滝田 B: 栗原

そして、おまけ、

今ちょうどニュースが入って、全日本マスターズレガッタ特別大会中止だとさ。



2021 年 5 月 4 日 戸田マスターズレガッタ



## 茨戸で漕いでみませんか？

東工大 S61年卒 渡利千春



DRC 台船引き揚げ作業



DRC モーター搬出作業

外語大端艇部現役 OBOG の皆様こんにちは。東工大 S61 卒の渡利と申します。ペンタ RC（ジュニア）に所属している縁で、ペンタの世話役をしてくださっている S59In 大野さんにお声がけいただき、これを書いています。

小生 3 年前にこれも縁あって北海道に参りました。食べ物が何でも美味しいし、夏も大して暑くなく、自然が

素晴らしい北海道は本当に良いところです。一昨年から札幌に拠点をもつ「道新ローイングクラブ」にも入れていただき、コロナ禍で制約を受けつつも地元の皆さんとの交流を楽しんでいます。

札幌エリアにおけるボート事情をご紹介させてください。

札幌市と石狩市を分ける茨戸（ばらと）川は、もともと大きく蛇行する石狩川の一部でした。大正から昭和初期にかけて、石狩川河口付近をまっすぐにする工事が行われ、1931（昭和 6）年に石狩川から切り離された三日月湖ができました。これが今の茨戸川です。長大幅広で流れがないことから、早くから漕艇の適地とされてきました。現在は北海道大、小樽商科大、石狩翔陽高校などのボート部のほか、複数の社会人のクラブが練習しています。今年はコロナ渦中のため催否が未定ですが、例年 6 月下旬には 1000 m レース「茨戸レガッタ」

が大々的に開催されます。

道新ローイングクラブは、その名の通り北海道新聞社の社内クラブとしてスタートしましたが、こんにち練習に参加しているメンバーは社外の方が殆どです。老若男女、漕歴も様々。小さいお子さんを連れてくるお母さんもいます。また活動内容もボートを漕ぐだけでなく、コロナ前は登山やスキー、単なる飲み会など活発でした。メンバーのダイバーシティと活動の幅広さ、アットホームな雰囲気はペンタに通じるものがあります。新規加入者でも大変楽しく居心地のよいクラブです。

そんな茨戸のボートライフ、大きな特徴が 2 つあります。

1 つは「安全」に関してとても厳格に対応していること。実は茨戸では過去に 3 回、ボートによる死亡事故が起きていました。その都度安全対策が強化されており、例えば茨戸レガッタの運営にもそれが顕れています。レース中、風向風速を測定する担当者を配置して、少しでも基準を超える風が吹いたときは競技を止めます。一昨年、ペンタが参加予定だったレースの大部分が中止になったのもそのためでした。

もう 1 つ。漕艇場の維持に関する事は殆ど何でも自分たちで行っています。茨戸川は冬季に完全凍結するため、秋には台船を川から引き揚げ、春にまた設置します。この結構大変な作業もクレーン付きトラックを借りてきて、自分たちで行います。練習環境を保つには他にも大小様々な「仕事」がありますが、いろいろな資格・技能のある方が、木工、金工、塗装など、玄人はだしの腕前で、その都度工夫しながらてきぱきと事を進めます。大変たくましいです。

コロナのリスクが下がったら、茨戸で漕いでみませんか？ そのまま北海道に住みたくなるかも。

# 会費納入のお願い

艇友会会长 水野時孝

今シーズンもコロナ禍のため、度重なる緊急事態宣言の発出や延長により合宿や乗艇練習ができない状況です。レースはこれまで、お花見レガッタと戸田レガッタに出漕し、学生は練習不足で苦労しましたが、気力で頑張ってくれました。しかしながら、恒例の五大学レガッタは今年もやむを得ず開催中止となりました。新人勧誘も対面勧誘は禁止されているため、パンフレット等の机上配布やオンライン勧誘に限られ思うようにできません。史上稀な危機的環境ではありますが、アフターコロナを視野にできることを確実に進めていって欲しいと思います。

このような状況にもかかわらず、昨年度も年会費の納入をいただき誠にありがとうございました。ただ、遠征も含め合宿することはできずレースもほとんど開催されなかったので、平時より多くの収支残高がありましたが、昨年度のオンライン総会

でお認めいただいたとおり、多額を造船基金に積み立てることができました。その他の繰越金は、かねがね課題であった合宿・練習環境の整備や学生への交通費援助に当てるための予算を計上しております。

さて、本題です。このコンコルディア発行時に学生から会費納入についてお願いをいたしますが、時下、できれば下記の口座振込による納入をお願いいたします（正会員会費年間3万円）。また、学生が電話をした折には、学生との会話を通して激励していただければ幸いです。

なお、便利な定期自動振替制度やシーズン当初の多額の出費に備えるための3月一括振替も、是非、ご活用ください。

重ね重ねのお願いとなります、下記の「外語端艇部支援基金」も将来の大きな出費に備えるためにはまだ皆様方のご協力が必要となりますので、今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。

外語端艇部支援基金残高（2021年6月現在）：13,120,000円

## 訃報

秋葉武志氏 昭和39年C科卒

逝去日：2021年4月13日

芳賀明夫氏 昭和42年U科卒

逝去日：2021年7月8日

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

## レース・行事日程

東日本選手権 8月28日

全日本大学選手権 9月9日～12日

全日本選手権 9月23日～26日

東日本新人選手権 10月16日・17日

全日本新人選手権 10月29日～31日

## 2021年3月卒業生就職先

(株) 極洋

(株) ロイヤルマーケティング

## 編集後記

お花見レガッタ開催で無事にシーズン幕開けかと思った矢先、緊急事態宣言の発令によって五大学レガッタは二年連続で中止となってしまいました。不透明な先行きには不安もありますが、それでも社会状況は徐々に好転しつつあります。現役部員も秋のインカレを目指し、今できることに精一杯取り組んでいます。部員たちへの大きな励みとなるのが、OB OGの皆様からの力強い声援です。これまでと同様、変わらぬご支援を何卒よろしくお願ひ申し上げます。  
発行人 武 友則（平6R）

## 会費納入先口座

三井住友銀行 本店営業部

普通 口座番号 0975218

口座名義：東京外語艇友会

ゆうちょ銀行 00170-5-110123 東京外語艇友会

住所（電話番号）/勤務先（電話番号）/e-mail アドレスなどの変更  
お名前/卒年を明記の上変更情報を以下アドレスにご連絡願います。

[concordia.meibo.henkou@gmail.com](mailto:concordia.meibo.henkou@gmail.com)